(平成25年4月分 部 門	市況の概要
野菜	総入荷量は、前年同月と比べ14%上回り、平均単価が16%下回った。根菜類は、前年同月比入荷量が19%上回り、単価が31%下回った。ダイコンの作柄は良好で、太物中心の入荷により、前年同月の入荷量を上回った。タケノコは裏年のため、入荷量が下回った。 葉菜類は、前年並みの入荷量となり、単価は3%下回った。 果菜類は、概ね順調な入荷となり、前年同月比入荷量は26%上回り、単価は14%下回った。 土物類は、前年同月比入荷量が20%上回り、単価が36%下回った。バレイショは単価高だった昨年より単価が下回り、タマネギも入荷増によって単価が下回った。
果実	総入荷量は、前年同月と比べ21%上回り、平均単価が10%下回った。 柑橘類は、表年により前年同月比入荷量が5%上回り、単価が18%下回った。 リンゴ類は、前年同月比入荷量が72%上回り、単価が40%下回った。サンふじの産地在庫量が多く、入荷が増加した。イチゴ類は、前年同月比入荷量が8%下回り、単価が19%上回った。先月までの出荷が前年実績を上回り、株疲れによる3番・4番果房の着果が低調となった。メロン類は、前年同月比入荷量が108%上回り、単価が25%下回った。アンデスは前年が天候不順による少ない入荷であったが、今年は作柄良好の大玉傾向で前年同月を大きく入荷が上回った。 スイカ類は、前年同月比入荷量が46%上回り、単価が11%下回った。前年は天候不順による作柄不良だったが、今年は天候よくサイズ及び入荷量が伸びた。

主要品目(野菜)	市況の概況
【根菜類】 ダイコン	長崎,鹿児島を中心に,滋賀,香川,千葉から入荷され,入荷量が前年同期を33%上回り,価格は52%下回った。
西洋ニンジン	徳島を主体に長崎、鹿児島、中国、台湾から入荷され、入荷量は前年同期並みとなったが、小玉傾向により価格は16%下回った。
タケノコ	京都府を中心に徳島、福岡、鹿児島、熊本から入荷され、入荷量が前年同期を6%下回り、価格は11%上回った。
【葉菜類】	熊本を中心に、長崎、茨城、宮崎、兵庫から入荷され、入荷量が前年同期を18%下回ったが、生育遅れによる品質低下及び加工需要の低迷から価格は43%下回った。
キャベツ	愛知を中心に,兵庫,神奈川,滋賀,鹿児島から入荷され,入 荷量が前年同期を7%上回り,価格は14%下回った。
ホウレンソウ	京都府を中心に、徳島、福岡、滋賀、岐阜から入荷され、入荷量が前年同期を7%上回り、価格は14%下回った。
レタス	兵庫を中心に、徳島、長崎、岡山、茨城から入荷され、入荷量が前年同期を9%上回り、活発な需要により価格は9%上回った。
【果菜類】	宮崎を中心に、高知、滋賀、福岡、徳島から入荷され、入荷量が前年同期を18%上回り、価格は3%下回った。
ナス	高知を中心に、岡山、徳島、滋賀、熊本から入荷され、入荷量が前年同期を10%上回り、安定した入荷が続いたため、価格は前年並みとなった。
トマト	熊本を中心に,福岡,三重,佐賀,奈良から入荷され,入荷量 が前年同期を22%上回り,価格は16%下回った。

ピーマン

宮崎を中心に、高知、茨城、鹿児島から入荷され、入荷量が前年同期を30%上回り、価格は24%下回った。

## 【土物類】

バレイショ (メーク含む) 鹿児島,北海道を中心に,長崎から入荷され,入荷量が前年同期を8%上回り,価格は37%下回った。

タマネギ

長崎、北海道を中心に、佐賀、兵庫、中国から入荷され、入荷量が前年同期を44%上回り、価格は44%下回った。

## 【その他野菜】 生シイタケ

北海道、徳島を中心に、広島、和歌山、岡山から入荷され、入荷量が前年同期を26%上回り、価格9%下回った。

主要品目 (果実)	市況の概況
甘夏柑	愛媛,熊本を中心に,福岡,和歌山,大分から入荷され,小玉傾向により入荷量が前年同期を10%下回り,低温の日が多かったため,消費が低迷したことから価格は9%下回った。
清見	和歌山,福岡から入荷され,入荷量が前年同期を14%上回り, 価格は22%下回った。
ふじ (サン含む)	青森から入荷され、入荷量が前年同期を107%上回り、価格は42%下回った。
イチゴ	福岡を中心に、熊本、大分、佐賀、長崎から入荷され、入荷量が前年同期を8%下回り、価格は19%上回った。
アールス	静岡, 高知から入荷され, 入荷量が前年同期を23%上回り, 価格は22%下回った。
アンデス	熊本からから入荷され、昨年の天候不順による小玉傾向から、 作柄良好の大玉傾向に変わり、入荷量が前年同期を173%上回り、価格は6%下回った。
大玉スイカ	熊本から入荷され、入荷量が前年同期を48%上回り、価格は 11%下回った。